「はじめる」から「かなえる」へ。福島県では、震災から10年を機に「ふくしまから はじめよう」からのバトンを渡す、新スローガン「ひとつ、ひとつ、実現する ふくしま」を策定しました。復興に向けて歩んできた「これまで」と、新しい未来に繋げていく「これから」と、県民のみなさんひとりひとりの「今」を重ねたメッセージです。

脱プラスチックのすすめ

福島県　一般廃棄物課

福島県では、脱プラスチックを志向する事業者の取り組みを支援するため、令和４年11月から令和５年２月にかけて、福島県飲食業生活衛生同業組合員と福島県移動販売業協同組合員の協力のもと、プラスチック代替品（バイオプラスチックなど）を導入する実証実験を実施しました。

実証実験により把握できた課題などについてご紹介します。

はじめに

プラスチックは、短期間で経済社会に浸透し、生活に利便性と恩恵をもたらしました。

一方で、金属などの他素材と比べて有効利用される割合が低く、また、不適正な処理のため世界全体で年間数百万トン超のプラスチックごみが、陸上から海洋へ流出するとされ、地球規模での環境汚染が懸念されています。

地球規模での資源・廃棄物制約や海洋プラスチック問題への対応は、SDGs（持続可能な開発のための2030アジェンダ）でも求められているところです。

世界全体で、プラスチック廃棄物のリデュース、リユース、リサイクル、徹底回収などのプラスチック資源循環体制の構築と海洋プラスチックごみによる汚染の防止を、実効的に進めることが求められています。

脱プラスチックに向けた実証実験

県では、事業者の脱プラスチックの推進の参考とするため、「プラスチック容器の利用が頻回であるものの、脱プラスチックを志向する業界の事業者」を対象に、プラスチック代替品を導入する実証実験を実施しました。

＜脱プラ推進支援事業実証実験　概要＞

〇実証期間

令和４年11月14日

～令和５年２月28日

〇参加事業者及び導入したプラ代替素材

①福島県飲食業生活衛生同業組合員

（有）シンドバット

店舗：日の丸亭保原店、国見店

取組内容：

・弁当容器をバイオプラスチック及び紙製へ変更

プラ代替素材	素材仕様
バイオデリカ郷味	バイオ PPF
BF 恵味	BF
紙わっぱ（紙コップ丸）	ポリエチレン

②福島県移動販売業協同組合員

リリーズカフェ

店舗：キッチンカー

取組内容：

・弁当容器をバイオプラスチック製へ変更

・持ち帰り袋をバイオプラスチック製へ変更

プラ代替素材	素材仕様
CBH214ホワイト単体・上蓋	バイオ BF・OPS
バイオデリカシュエルBOX60クラフトB	バイオマスプラ
バイオ N バッグ	HDPE+バイオマス25%

③福島県移動販売業協同組合員

BLT カフェ

店舗：キッチンカー

取組内容：

・ハンバーガー容器を紙製へ変更

・ドリンク容器をバイオプラスチック製へ変更

プラ代替素材	素材仕様
バーガーBOX	未晒クラフト紙＋内側耐油加工
バイオペットカップ・上蓋	PET（10%バイオ PET 配合）
バイオ NN パック M	HDPE+バイオマス25%

④福島県移動販売業協同組合員

DENDEN

店舗：キッチンカー

取組内容：

・揚げ物などの容器を紙製へ変更

・持ち帰り袋をバイオプラスチック製へ変更

プラ代替素材	素材仕様
ユーカリフードバッグ YFP-450	ユーカリパルプ＋紙パルプ
バイオＮバッグ	HDPE+ バイオマス25％

実証実験により見えてきたもの

●コストとメリットについての考え

現時点では、プラスチック代替容器への移行にはコスト増が伴い、それを吸収する方法が見つからないというのが共通点でした。

新型コロナウイルス感染症や原材料の高騰など、経営を取り巻く環境は厳しくなっており、また、容器の差額分を価格に転嫁しようにも、買上頻度の減少や競合店への顧客流出という不安から、なかなか踏み切れないというのが本音のようでした。

短期的視点でのデメリットが検討の中で大きく立ちはだかり、長期的視点でのメリットをなかなか描けない様子がうかがえました。

事業者側からは、消費者が「便利で安価」なものを第一の基準に考えている限り難しく、双方がメリットと感じる仕掛けが必要だ、との意見がありました。

今後は、この課題の解決策を検討していきたいと思います。

問い合わせ先　福島県　一般廃棄物課
電話：024－521－7249

お知らせ

県では、脱プラスチックの優れた取り組みを実践している事業者を対象に「プラ３Ｒ実践コンテスト」を行います。

６月中旬頃の募集開始を予定していますので、奮ってご参加ください。詳細は、６月中旬頃からホームページでお知らせします。

福島県　一般廃棄物課　検索